

宇美町公共施設再配置計画

第2回庁外委員会 会議録（要旨）

日時：2018（平成30）年7月10日

場所：宇美町役場 大会議室右

1. 開会あいさつ

2. 座長あいさつ

3. 事務局からの説明

- (1) これまでの取組と経過（P. 2～7）
- (2) 第1回庁外委員会での意見に対する回答及び方針（P. 8～10）
- (3) 小中学校の児童・生徒数の推計と空き教室数の見通し（P. 11～13）
- (4) 再配置の方向原案（P. 14～15）

< 1. ～ 3. 割愛 >

4. 審議（意見・質疑）

- (1) これまでの取組と経過（P. 2～7）について

→意見なし

- (2) 第1回庁外委員会での意見に対する回答及び方針（P. 8～10）について

→意見なし

- (3) 小中学校の児童・生徒数の推計と空き教室数の見通し（P. 11～13）について

○【委員】築80年経ち建替えを行う時、学校の規模は人口減少した児童数を見込んで建替えられることになる。建替え後は空き教室がなくなるのにどういったシナリオで複合化するのか、財源のことも考えながら検討しなければならない。

→【座長】早期に建替え時期がくる宇美小、宇美東小では、複合化した機能を含めての建替えになってしまうので、余計に経費がかかってしまうという指摘だと思う。

→【事務局】建替え時期では、財源、複合化する機能など、指摘された諸問題が出てくる可能性がある。現時点では、建替え時期で複合化を見込んで更新するかどうかの判断は難しい。その時点で、地域拠点施設としての位置付けがあれば、学校敷地内に複合化施設として更新することになる。またその時点で、別の選択肢があれば、それを含めて検討することになる。再配置計画を10年毎に見直す際に、時代のニーズに合った形で対応していきたい。

- (4) 再配置の方向原案（P. 14～15）について

○【委員】老人福祉センターの浴室利用者はどのくらいあるのか。

→【事務局】正確な数字は手元にないが、担当課からの報告によると限定された人しか利用していないとのことだった。公が担う施設として浴室が必要かどうかは慎重に検討する。利用者数については調査済みなので、次回資料をお渡したい。

○【委員】高齢化が進むなか、施設を集約する際は要介護者のことも考え、バスのような施設へすぐに向かえる交通手段が必要。また、災害時の避難のために、安全安心な施設を確保すべき。お年寄りの視点での介助や移動手段のことも検討材料に入れてはどうか。

- 【座長】避難所に指定されている小学校が複合化することで、避難所がより身近になっていくと思うが、小学校まで高齢者が移動するには階段が多かったりするところもあるのではないかというご意見と思う。移動手段を含め考えていくのは重要な視点と思う。
- 【委員】7月6日の水害時、子育て支援センターは開館していた。雨が強く誰も来ないだろうと思っていたが、7～8組の方が来館した。理由としては、家の近くに川があり、不安なので一時的に避難しに来たという事だった。いろんな考えで皆さん動くので、改めて安全面の見直しをした方が良いのではないか。学校全てが避難所指定になっているが、水害時に一番安全な避難所はどこだといった避難所の検討も必要だと思う。
- 【事務局】避難所、避難指示等に関しては、今回の水害を教訓として再配置と違う部署でも検討していきたい。
- 【委員】歴史資料館は、「維持」という方向だがもったいないと思う。もっと活用できないか。
- 【事務局】歴史資料館については、担当課によって有効活用策となる様々なイベントや催し物を検討している。
- 【委員】歴史資料館は、庁舎を建替える際に一緒にした方が人は集まるのではないか。
- 【事務局】宇美八幡の横にあるため、町外来訪者に対応しやすい場所となっている。歴史民俗資料館は、場所よりもむしろ運営方法を工夫する必要があると考える。
- 【座長】小学校を中心としたコミュニティ拠点について、問題点や意見はないか
- 【委員】現在、力を入れているのは地域コミュニティと学校、PTAとの連携である。子ども達と取り組む活動は小学校が中心となるので、事務局を校内に設置できれば活動も積極的になるのではないかと考える。
- 【委員】公民館については、自治会が10世帯未満のところもあり合併などの自治会の見直しも必要。各自治会にある公民館の安全性の検証も必要。避難所としても安全な施設が必要なため、公での設置を考えてはどうか。福岡市では小学校と老人ホーム、公民館など4つぐらいの機能が同じ敷地に建っている。子どもの数も減るので小学校と複合する考え方は良いと思う。
- 【委員】少子化高齢化とか人口減少とかネガティブな考え方ではなくポジティブな方向で人口増加を考え決めるべき。学童保育を民営化すれば保護者の費用負担は増えるが家までの送迎が可能になる。空き地、空き家を改修しても財政負担になるので、学童保育は民営化が良いのではないか。
- 【事務局】本計画ではリスクマネジメントの視点が重要なため、最悪のことを想定している。人口増加の手だてを考えるのはこの計画ではない。また、民間活用については民間の経営が成り立たないと成立しない面がある。ただ前回の庁内会議でE班が提案した「空き教室を民間企業に貸し出す」という案があり、民間に間貸ししたり、始めは公で設置して後に民間に移行したりするという方法もあるのではないかと考える。
- 【委員】再配置の方向性原案で4つの方向性が示されているが、目的によっては校区にとらわれない考え方も良いのでは。不安を抱えた母親の集まる場など校区を越えて活動したい場合もある。

- 【委員】小学校校区を越えた施設の利用や人とのつながりに持って行くには、小学校区コミュニティの活動が今後どうなっていくのが大事では。東中学校は2つの校区コミュニティで成り立っており校区コミュニティでの活動も異なる。
 - 【委員】校区コミュニティは「地域コミュニティ」ではなく、あくまで「校区コミュニティ」という枠組みで活動している。全体の活動となると校区コミュニティではない。混同されているようだが、町全体の話は校区コミュニティの活動ではない。大都市でも小学校区単位で子どもたちや高齢者の安全見守りなどを行っている。
 - 【委員】児童・生徒数は減少しているの、小学校再編は必要となってくるが、小学校を統合するのは通学距離も遠くなり難しいと思う。小学校をいかに活用していくか、建替え時にどんな機能を入れるのか、全ての学校に同じ機能を入れるのではなく、校区を越えて利用する機能があってもいいと思う。
 - 【座長】広い利用やサービスも想定して複合化されるのか。
 - 【事務局】分散化が適切な機能と、一元化向きの機能がある。分散し各学校に機能があったとしても運営が一元化されており繋がっている。そういった仕組みづくりが大切と考えている。
 - 【座長】住民ワークショップでは、仲間と分断されるという意見があった。障がい者作業所や保育所など一元化が必要な機能をどの小学校にもっていくのかという難しい判断が必要となる。
 - 【委員】話は変わるが、校区コミュニティは縄張りがあるわけではない。草の根まで目がとどくように、一つの自治会でやっていくのが大変なことを校区単位なら行い易いということで活動している。校区コミュニティごとに行っていることに違いがある。ただ相互の線引きやテリトリーがある訳ではない。月に一度、各コミュニティの会長が集まり、お互いの活動内容の発表をして情報共有している。もっと柔軟に考えていただければと思う。
 - 【座長】運用の問題という事が理解できた。
- 【委員】個人的に他町がどのように空き教室を利用した事例があるか調べてみたが、志免町ではゆずの木学園と連携し、大野城市にあるフードバンクという団体に協力してもらい空き教室で子ども食堂をやっている。計画の中で困窮している子どもたちに対する活動を進めていく方向性があればいいなと思う。勤労者体育センター入口付近のフロアと事務室の使い方で中学生向けの食堂があればなと思う。
- 【委員】新しいスポーツができる施設があればいいなと思う。
- 【委員】再配置の方向性原案に年次的な情報がないが、建替え時期が基本的にこの図では分らない。
- 【事務局】施設毎の年次計画がわかるように最終的には再配置計画をまとめた。現在はまだ途中なので、原案という事で理解してほしい。
- 【座長】小学校によって空き教室の数に差がある。均等に複合化することは困難。今後どう検討していくのか。
- 【事務局】校区コミュニティが結成されたばかりであり、小学校校区というくくりで活動ができ始めた段階。小学校ごとに児童数に差があるので校区再編も考える必要はあるが、すぐに行

えるような段階ではない。校区、自治会の再編の動向も踏まえ、慎重に考えていきたい。

→【座長】今後ロードマップが示されるとなった時は、校区の実情も踏まえた上で考慮されているということか。

→【事務局】どこまで考慮できるかは難しいところだが、10年おきの計画見直しする位置づけであるので、今回は原案を基本として進めて行くことになると思っている。

○【委員】庁舎は建替えになった時に、食堂があるなど他町の方が立派だなと思うみんなが集まるような希望の拠点になればと思う。

→【事務局】庁舎に関してはまだ建替え時期も決定してはいない。しかし、一定の耐震化は行っているが、防災拠点としての耐震性能が低いため、建替えの話は進めなければならない。庁舎建設基本計画を作成した際、PFIで建替えを検討した。ホールや食堂等も民間を間に入れることによって可能となる場合もある。検討するのはこれから。

5. まとめ・次回の日程決定